

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨災害対応検証報告書のポイント

- ✓ 13の大項目と36の小項目を検証項目として設定し、市民、市職員、関係機関等へのアンケート調査や意見照会により、発災後の応急対応から復旧対応、復興に向けた取組の状況や課題、改善目標を整理。改善目標項目数は104項目。
- ✓ 有識者からなる検証委員会における議論を踏まえ、調査結果を検証するとともに、短期・中期・長期の改善ロードマップを整理
- ✓ 地震と豪雨が連続して発生した複合災害対応から得られた課題や教訓を体系化し、今後の経験・教訓の継承や、地域防災計画、受援計画、災害対応体制の見直し・強化につなげることを目的としてとりまとめ

◆検証項目ごとのポイント(改善目標)

【検証項目①】災害対策本部の設置・運営

- 本部内の情報共有・連携体制の強化と非常用電源や通信手段などの確保

【検証項目②】情報の受発信・共有

- 情報収集・集約・共有を確実に行うための、情報共有体制の構築とデジタル活用の推進

【検証項目③】受援体制・他機関連携

- 応援機関を円滑に受け入れるための受援体制・計画の整備と役割分担の明確化

【検証項目④】応急復旧

- 復旧の優先判断基準の整理や技術職員の確保・応援機関や事業者との連携体制強化

【検証項目⑤】避難行動

- 1.5次・2次避難の枠組み・運用ルールの整備や気象台との連携体制の強化

【検証項目⑥】避難所の開設運営・孤立対策

- 持続的な運営に向けた地域主体の運営体制の強化と、通信・輸送手段等の孤立対策の推進

【検証項目⑦】給水・入浴支援等

- 断水による給水・入浴・洗濯・トイレの計画的な資機材備蓄や受援体制の整備

【検証項目⑧】保健・医療・福祉支援

- 継続的に要配慮者を支援するための保健・医療・福祉分野における受援・連携体制の強化

【検証項目⑨】被災者支援

- 罹災証明の交付や生活支援の円滑な実施に向けた体制強化とケースマネジメントの推進

【検証項目⑩】住まいの確保・支援

- 迅速な応急仮設住宅の建設に向けた候補地の事前整理と円滑な応急修理手続きの運用

【検証項目⑪】学校再開・集団避難

- 学校再開と避難所運営の運用ルール整理と、教育環境の早期回復に向けた対応強化

【検証項目⑫】災害廃棄物

- 円滑な災害廃棄物処理及び公費解体に向けた国・県との役割分担整理と処理体制の強化

【検証項目⑬】その他(文化財・復興計画等)

- 文化財の保護体制の確立、地震・豪雨の二重災害を踏まえた復興計画の策定

◆複合災害の対応に向けた主な課題

- 地震と豪雨の災害対応を並行して行う中で、複雑化した支援・対応に向けた情報整理と共有体制の強化
- 複合災害を踏まえた応急復旧体制の再構築と災害廃棄物処理・公費解体体制の強化
- 地震・豪雨で異なる運用が求められる被害認定や罹災証明の円滑な受付・交付等における体制の整備
- 住環境・生活基盤回復の長期化を背景とした人口流出・人口減少の抑制や、地域の再生を図るための復興施策の確実な実施

①教訓やノウハウの蓄積・共有:

- 災害対応の記録や教訓を整理・保存し、庁内外で共有・継承する仕組みの構築

②計画の見直し・改定:

- 検証結果を踏まえた地域防災計画や業務継続計画、受援計画、地区防災計画及び個別避難計画等の見直し・改定と運用改善

③職員の災害対応能力の向上・研修:

- 訓練やマニュアル整備を通じた、職員の実務能力・対応力の底上げ

◆経験・教訓の継承